



株式会社バイ・テクノロジー
2025年3月期(第28期)

第3四半期決算補足資料

(2024年4月1日～2024年12月31日)

2025年2月10日

| 目次

- I. まとめ
- II. Q3概況

I. まとめ

1. 第3四半期連結決算は、半導体・フォトマスク装置事業が寄与し2四半期振りに黒転しました。

- 売上高318億円(前年同期比+66.6%)、営業利益56百万円(同+21億円/黒転)となりました。
- 半導体・フォトマスク装置事業：主にフォトマスク関連製品が寄与、Q3(3か月)の売上高は30億円、営業利益は4億円と、Q2に続き黒字となり、好調さを維持しました。累計期間の売上高は84億円(同+15.5%)、営業利益3億円(同+13億円/黒転)となりました。
- フラットパネル装置事業：Q3(3か月)の売上高は60億円、営業利益は主に売上減により▲1億円となりました。累計期間の売上高は223億円(同+102.5%)、営業利益3百万円(同+8億円/黒転)となりました。収益性改善に向け、取り組みを更に強化してまいります。

2. 第4四半期連結(3か月)の売上・営業利益について

- 好調な半導体・フォトマスク装置事業が牽引役となり、概ね期初予想での着地を見込みます。

3. 受注について

- 第3四半期(9か月)の受注は、264億円(前期比-2.7%)と想定を下回りました。
- 半導体・フォトマスク装置事業：主に汎用PCB、ウェハ用装置の受注寄与し、124億円(前年同期比+15.5%)となりました。
 - ✓ アドバンストパッケージ用テスター「LIBRA」を初受注、技術を結集しインターポ-ザ-の端子間導通検査を世界で初めて実現しています。
- フラットパネル製造装置事業：一部の案件で正式発注が第4四半期に延伸、受注高は129億円(同-17.1%)に留まりました。
 - ✓ 低価格な大画面(85インチ)LCD-TVの需要拡大、中国内の景気刺激策等を背景に、既設工場の設備検討が進みました。
- 期末受注残については、中計を念頭に来期装置売上高を十分に賄える規模感を目指し、受注管理および受注活動を強化しております。

4. 中期経営計画について、前回発表からの修正や変更は現時点でございません。

II. Q3概況

1. 連結業績サマリー
2. セグメント別業績
3. 通期業績及び配当予想
4. 受注・受注残の状況
5. 中期経営計画
6. その他、業績資料
 - (1) 地域別売上高
 - (2) 四半期売上・利益の推移
 - (3) 販売費及び一般管理費
 - (4) 貸借対照表

1. 連結業績サマリー

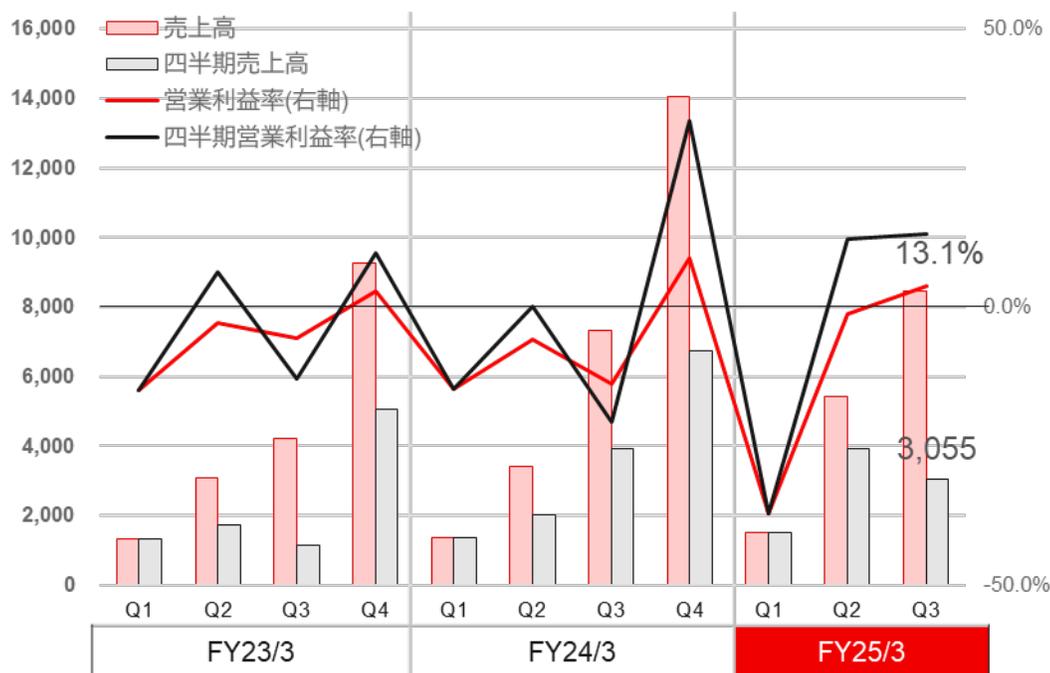
半導体・フォトマスク装置事業が寄与し黒転

(百万円)	FY24/3 Q3(9か月)	FY25/3 Q3(9か月)	前年同期比
売上高	19,103	31,824	+ 12,721 + 66.6%
営業利益(▲損失) (利益率%)	▲2,077 —	56 0.2%	+ 2,133 —
経常利益(▲損失) (利益率%)	▲1,900 —	194 0.6%	+ 2,094 —
親会社株主に帰属する 中間純利益(▲損失) (利益率%)	▲1,387 —	53 0.2%	+ 1,440 —

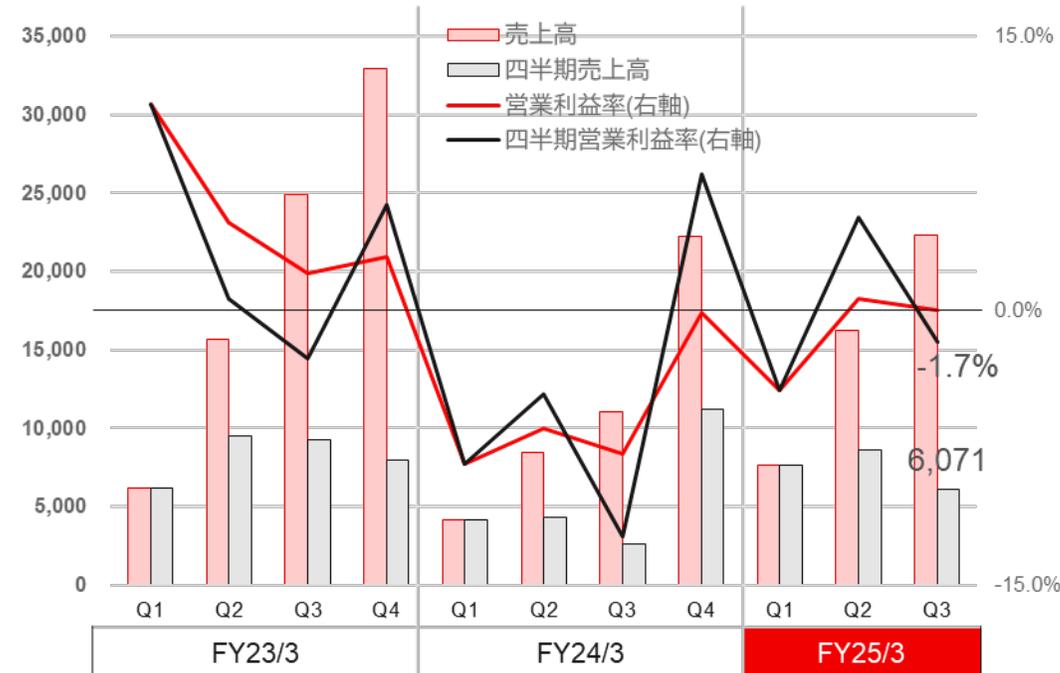
2. セグメント別業績

両セグメントとも増収増益を達成、Q4も堅調に推移する見通しです。

半導体・フォトマスク装置事業(単位:百万円)			
	FY24/3 9か月	FY25/3 9か月	前年同期比
売上高	7,328	8,461	+ 15.5%
営業利益(▲損失) (セグメント利益率)	▲1,017 (-%)	325 (3.8%)	+ 1,342 (-%)



FPD装置事業(単位:百万円)			
	FY24/3 9か月	FY25/3 9か月	前年同期比
売上高	11,017	22,308	+ 102.5%
営業利益(▲損失) (セグメント利益率)	▲862 (-%)	3 (0.0%)	+ 865 (-%)



3. FY25/3 Q4および通期業績と配当予想

- Q4(3か月)の売上高・営業利益について、概ね業績見予想に沿った着地を見込みます。
 - ✓ 半導体・フォトマスク装置事業は、好調さを維持しQ3比で増収・増益を見込みます。
 - ✓ FPD装置事業は、Q4で再び収益が改善する見通しです。
- 2024年5月13日開示の業績および配当予想からの変更は御座いません。

(百万円)	FY24/3実績		FY25/3 業績・配当の予想	
	金額		金額	前期比
売上高	37,335		47,000	+25.9%
営業利益	846		1,600	+89.1%
(利益率)	2.3%		2.5%	
経常利益	1,112		1,400	+25.9%
(利益率)	3.0%		2.1%	
親会社株主に帰属する当期純利益	778		1,000	+28.5%
(利益率)	2.1%		1.4%	
EPS(円)	80.65		105.82	+25.17
配当(円)	中間	30	40	+10
	期末	30	40	+10

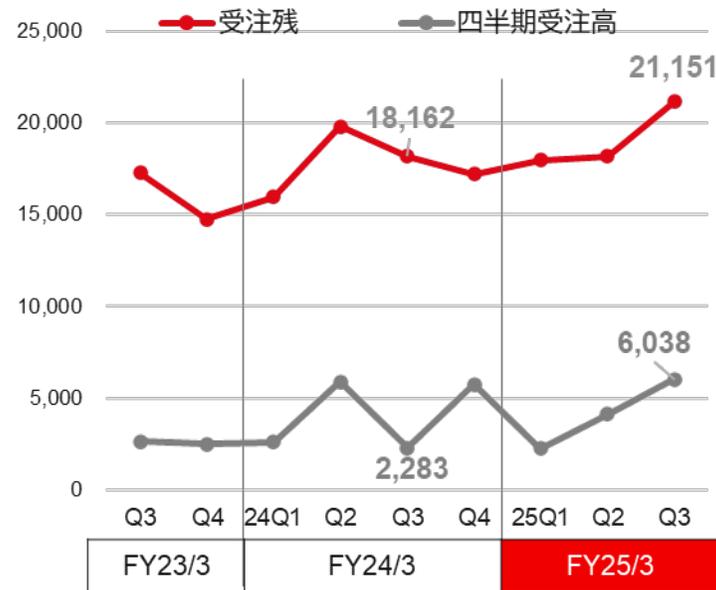
4. 受注・受注残の状況(1/3)・・・見通し

- Q3(3か月)受注:半導体・フォトマスク装置事業は汎用PCB関連の受注が堅調、FPDは正式発注がQ4に延伸しました。
- Q4受注残:中計を念頭に来期装置販売を十分に賄える規模を目標に、受注面の管理を強化すると同時に広範な活動を展開しております。
 - ✓ 目標受注残におけるセグメント別の割合の目安(半導体:4~5割/FPD:5~6割)
 - ✓ 顧客による当社グループの技術評価および設備投資の実施を前提

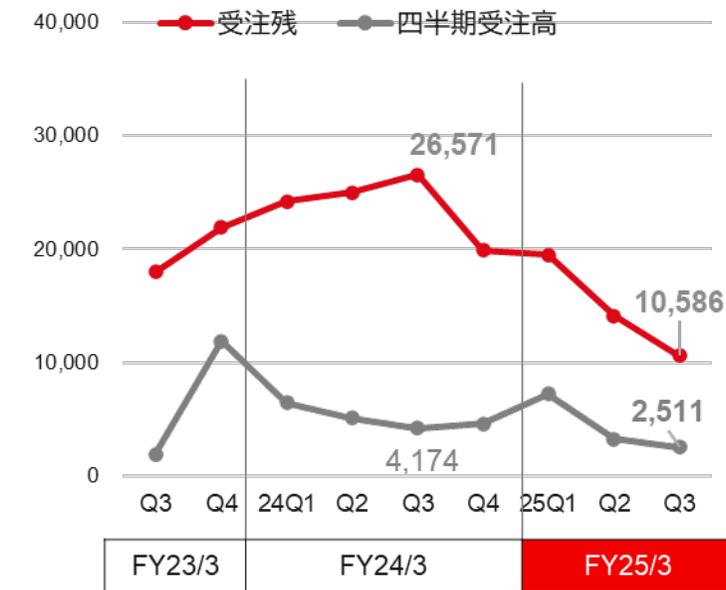
グループ全体		(単位:百万円)	
	FY24/3 Q3	FY25/3 Q3	前年同期比
受注残	44,734	31,737	▲29.1%
受注高(累計)	27,190	26,462	▲2.7%



半導体・フォトマスク装置事業		(単位:百万円)	
	FY24/3 Q3	FY25/3 Q3	前年同期比
受注残	18,162	21,151	+16.5%
受注高(累計)	10,747	12,412	+15.5%



FPD装置事業		(単位:百万円)	
	FY24/3 Q3	FY25/3 Q3	前年同期比
受注残	26,571	10,586	▲60.2%
受注高(累計)	15,684	12,995	▲17.1%



4. 受注・受注残の状況(2/3)・・・注力分野でのトピックス

アドバンストパッケージ用電気検査装置「LIBRA」を初受注

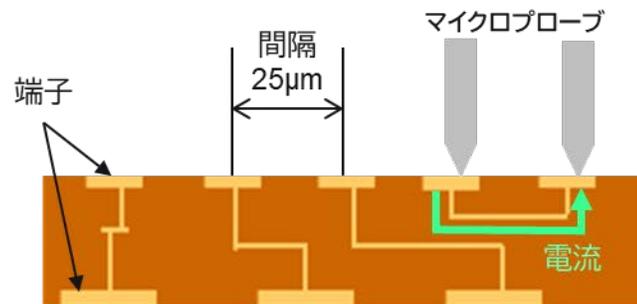
グループのユニークな技術を結集しインターポージャー/パッケージ基板の端子間導通検査を世界で初めて実現、半導体メーカー、基板メーカーからの受注を開始しました。

インターポージャー上の端子間の電気検査

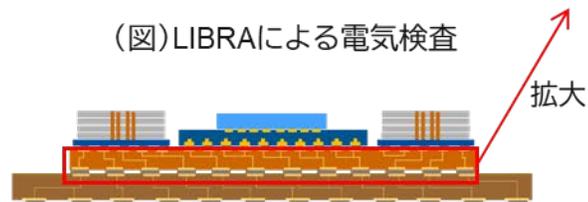
(課題)微細化により電気検査不可能



LIBRA+マイクロプローブで解決(世界初)



(図)LIBRAによる電気検査



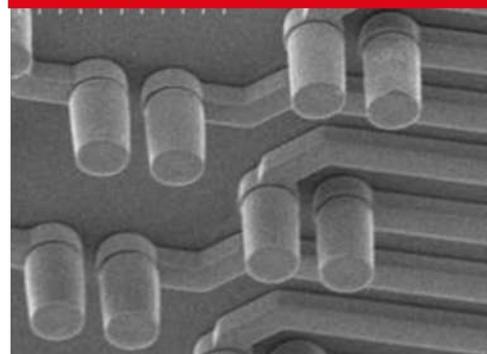
アドバンストパッケージ
(赤枠部インターポージャー)

LIBRA



搭載

新開発マイクロプローブ



PCBおよびFPD用O/Sテスター、関連治具

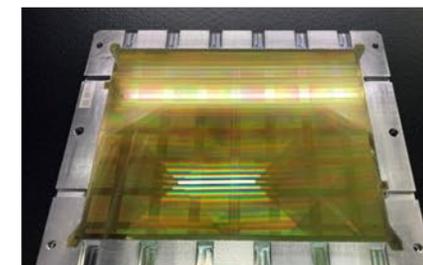


新開発



OHT

スマホ用OLED向け蒸着マスク



VTグループ各社

マスクレス露光
洗浄
検査・修正・測定

4. 受注・受注残の状況(3/3)・・・注力分野でのトピックス

アドバンストパッケージ用DI露光装置 IMAGINA Series/LAMBDI Series

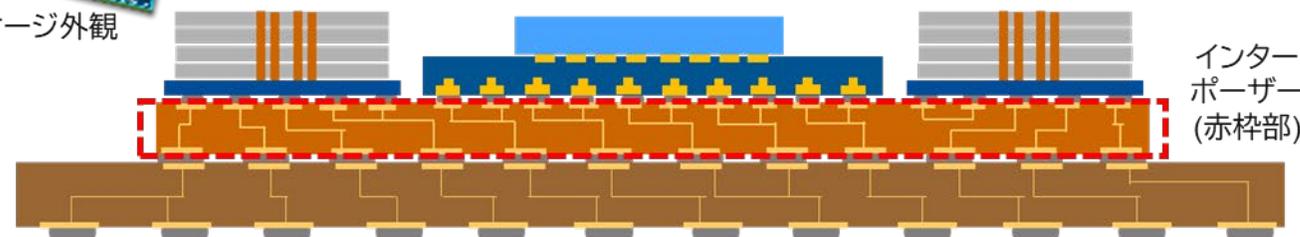
～LAMBDI初号機を昨年12月に出荷、更に4 μ m機の中国展開を本格化～

アドバンストパッケージ用DI露光装置「LAMBDI」

最新のDI技術に「IMAGINA」の
HPC用基板の製造現場で培った
技術に2 μ mDI露光技術を組み入れ
新たに開発



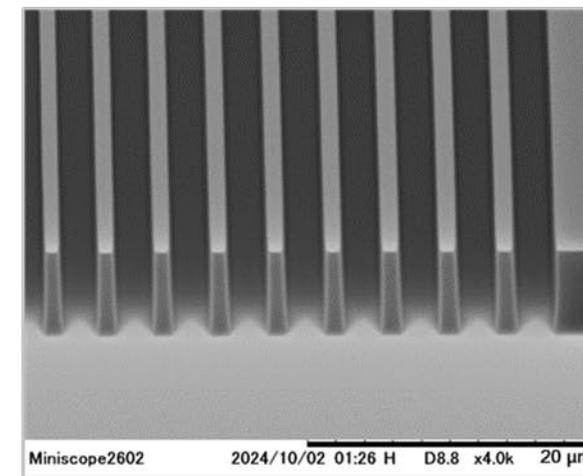
パッケージ外観



アドバンストパッケージ(断面イメージ)



初号機出荷



露光サンプル
(1.2 μ mレジストパターン)

5. 中期経営計画(2024年5月公表)・・・数値目標

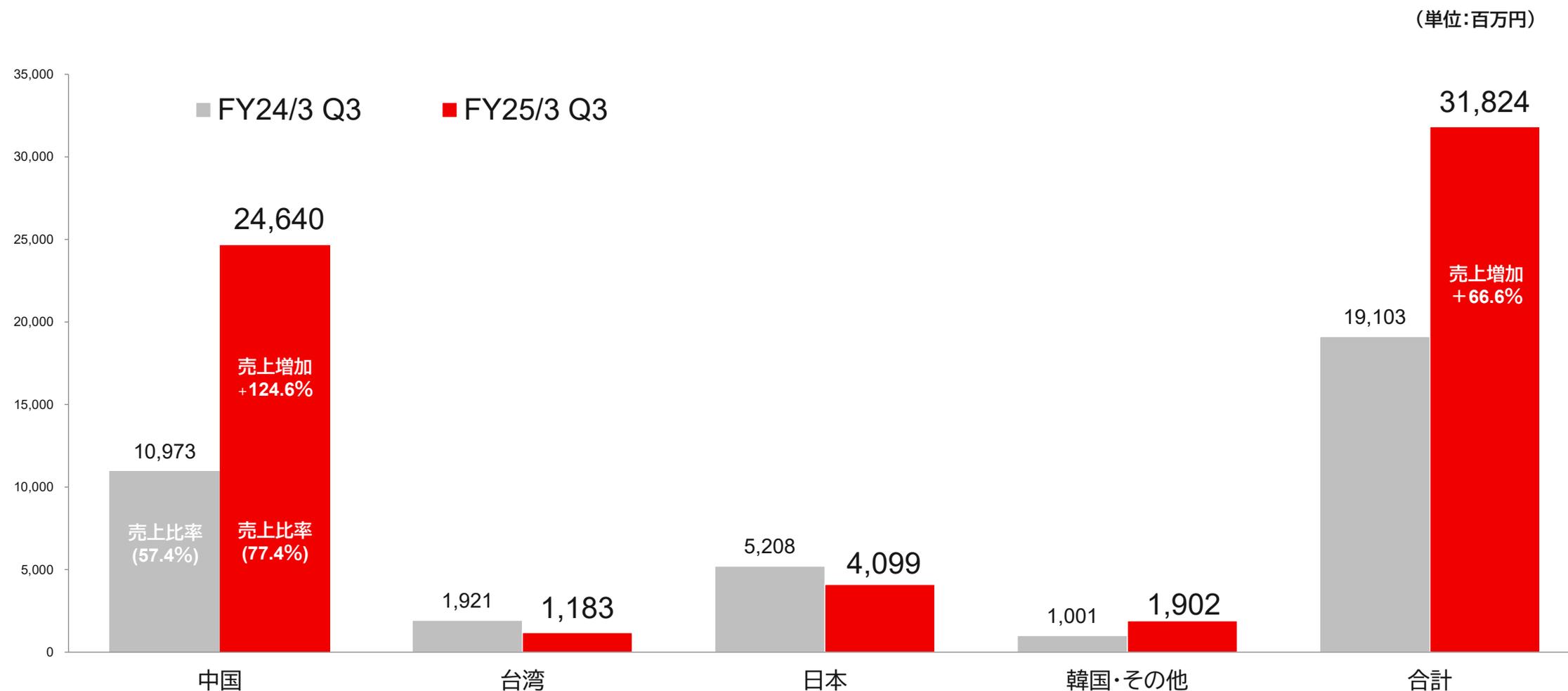
現時点で、計画に変更は御座いません。

指標等	24年3月期 (実績)	数値目標			
		25年3月期	26年3月期	27年3月期	29年3月期
売上高(億円)	373	470	570	670	1,000
内、半導体・フォトマスク装置事業	140	225	316	358	680
内、FPD装置事業	223	230	230	280	250
内、新規事業	10	15	24	32	70
営業利益(億円)	8.5	16.0	45.0	74.0	200.0
営業利益率	2.3	3.4	7.9	11.0	20.0
*ROE (%)	2.3	2.9	8.2	12.5	23.7

*ROEは、為替影響を織り込んでおりません。

6. その他業績資料(1) 地域別売上高

主に、FPD装置事業の中国顧客向け販売が増加

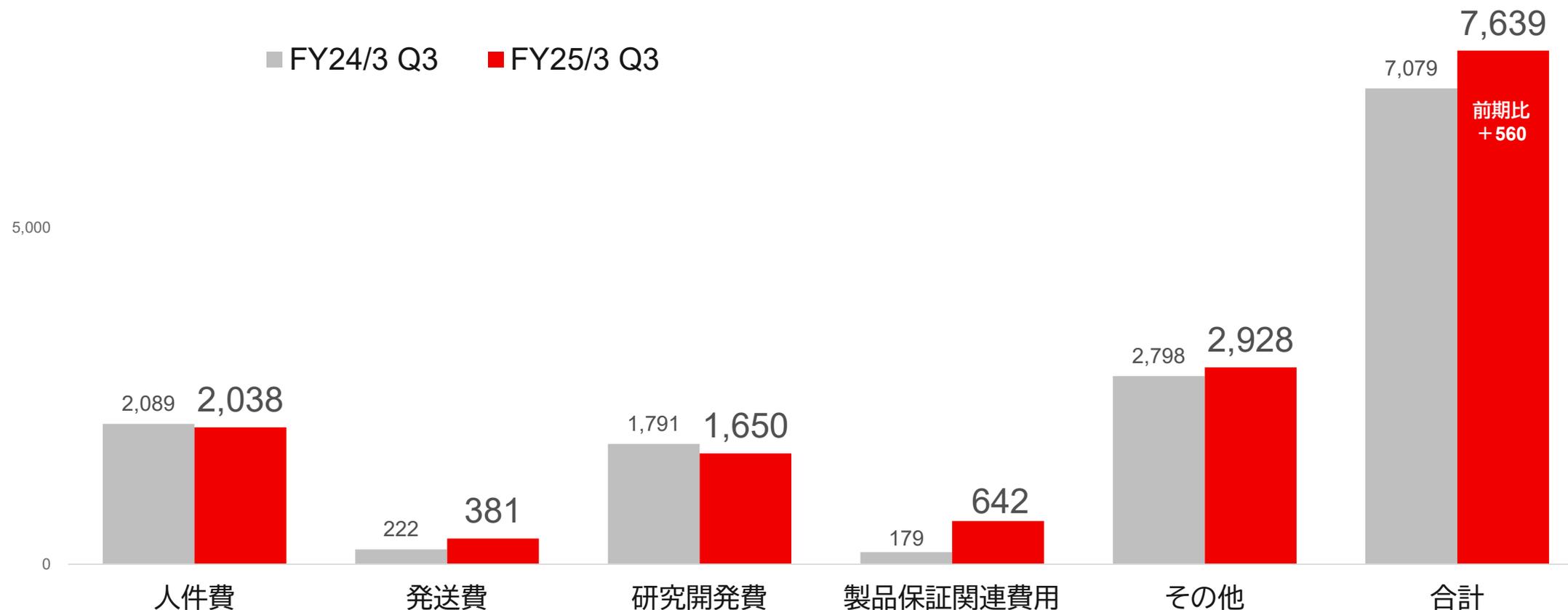


6. その他業績資料(2) 販売費及び一般管理費

売上増により、変動費関連(発送費および販売関連費等)が増加

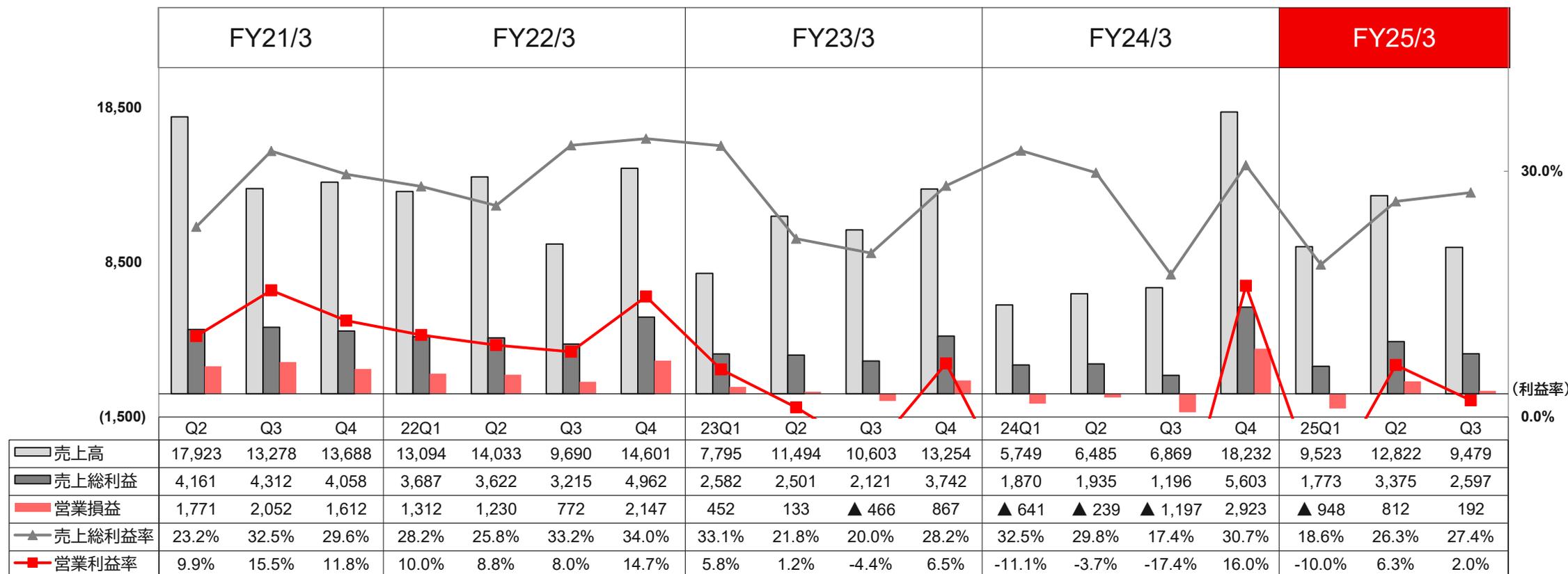
製品保証関連費用： 前期は引当の戻入の影響から他項目より前期比で差額が拡大(+463百万円)

(単位:百万円)



6. その他業績資料(3) 四半期売上・利益の推移

(単位:百万円)

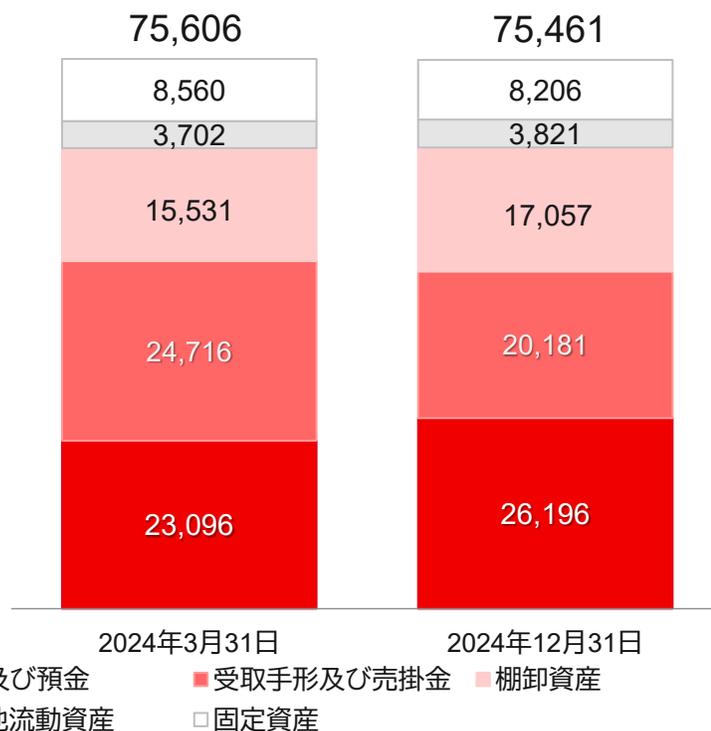


6. その他業績資料(4) 貸借対照表

現金及び預金: 売上検収作業の促進等による受取手形及び売掛金の減少、借入金増加等から3,100百万円増加

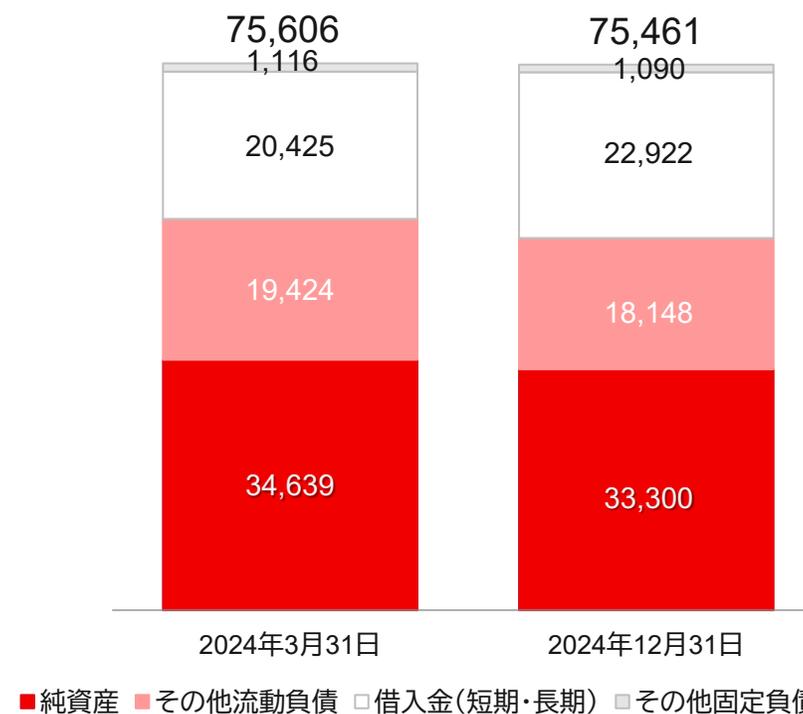
総資産

(単位:百万円)



負債・純資産

(単位:百万円)



・ 将来見通し

本資料に記載されている当社の計画、戦略、見通し及びその他の歴史的事実でないものは、将来に関する見通しであり、これらは現在入手可能な期待、見積、予想に基づいています。これらの期待、見積、予想は、経済情勢・市況の変化、競争環境の変化、顧客のある国の政策変化、係争中及び将来の訴訟の結果など多くの潜在的リスク、不確実な要素、過程の影響を受けますので、実際の業績は見通しから大きく異なる結果となる可能性があります。従って、これら将来予想に関する記述に全面的に依拠することは差し控えて頂きますようお願いいたします。また、当社は新しい情報、将来の出来事などに基づきこれらの将来予測を更新する義務を負うものではありません。

・ 数字の処理

記載された金額は、単位未満を切り捨て処理、比率は単位金額で処理した結果を四捨五入している為、内訳と一致しない場合があります。

・ 事業セグメントの構成

・ 半導体・フォトマスク装置事業

半導体製造工程における製造装置、検査装置及びフォトマスク用装置等の開発・設計・製造・販売・関連サービス、及びPCB用装置で構成されています。

・ FPD装置事業

FPD製造工程における製造装置、検査装置等の開発、設計、製造、販売、関連サービス及びOLED用蒸着マスクをはじめとする部材等で構成されています。

お問合せ先
社長室 IRグループ
vtj-mng-pre@vtec.co.jp

